

## 一貫作業システムによる再造林の低コスト化

### 1. 出雲地区森林組合(出雲市)

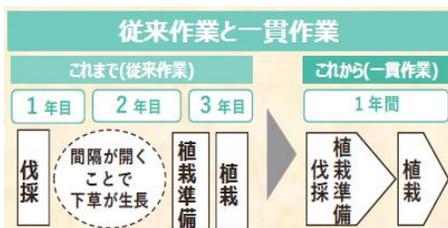
【管 轄】出雲市  
 (旧出雲市、旧平田市、旧簸川郡内5町)  
 【私有林面積】 36,071 ha  
 【設 立】 H10年10月1日に6組合が合併  
 【従 業 員】 73名(組合員 7,806名)  
 【事 業 量】 745,633千円(R元年度)  
 【業務内容】 森林づくり事業、木材加工事業 等

### 2. 取組の経過及び概要

原木の生産(伐採)コストと木材収入だけを比べると収支は黒字だが、**伐採後の再造林に要する経費が負担**となり、森林所有者が意欲的に原木生産に取り組むことが困難な状況。

そのため、原木生産コストの引き下げに加えて、**再造林コストの引き下げ**も併せて実現していくことが必要。

(1)主伐を行う『**まるい林産(株)**』(伐採者)と造林・保育を担う**森林組合**(造林者)で**一貫作業**の協定を締結。



#### 一貫作業とは

これまで(従来作業)は、伐採後期間を開けて造林者が人力により地拵えを行うため、再造林経費がかかり増し。一貫作業では、伐採者が伐採作業に使用した林業機械で「機械地拵え」を行い、造林者が伐採後早期に植栽を実施することで、**再造林の低コスト化を実現**。

(地拵え・・・残材等を植栽しやすいように整理すること)

(2)協定締結による連携強化

国、県による造林補助事業によりスギ裸苗を0.25ha植栽。(植栽密度2,000本/ha)

現場ごとの地拵え状況を**確認**し合うなど、伐採者と造林者の連携を強化。



### 3. 取組の成果

#### (1)再造林コストの低減

	再造林コスト (万円/ha)		
	H30	R2	R3
県平均	114	104	104
出雲	128	118	104

①伐採者と造林者による事務協議と現場協議を繰り返すことにより、人員や機械の工程調整が図られコスト低減に寄与。

②伐採者が機械やチェーンソーを用いて残材を細かくすることにより、造林者の作業が人力による刈り払いとレーキ(熊手)による軽作業のみに軽減。

#### (2)現場連携による改善意識の向上

苗木の仮植場所を伐採者の機械で耕すなど、建設的なアイデアが提案され、現場における工夫等、自ら改善する意識が向上



地拵え前(従来、数年後に植栽)

一貫作業による地拵え・植栽後

枝残材などが散乱せず、林内が整理されているため、その後の保育作業を効率的に実施可能。

また、残材による植栽不可の除地面積も減少するため、林地を最大限有効活用。

### 4. 課題と今後の取組方向

(1)効率よく作業できる現場づくり

伐採着手前に伐採者、造林者双方が使い易い作業道の線形などの事前協議を実施。

(2)円滑な一貫作業の実施

裸苗から**コンテナ苗**への移行を検討。